

マニフェスト

区ビジョンまちづくり計画や地域福祉計画に基づき、時代の潮流を踏まえつつ、秋葉区の特性を活かしたまちづくりを推進します。

この方針のもと、今年度は次の4つの取組を重点的に実施します。

1. 産学官・地域等と連携し、まちなかの活性化や健康づくり、人材育成に向けた取組を進めます。
2. 自助・共助・公助の重層的な組合せによる地域ぐるみの福祉を推進するとともに、安心安全なまちづくりを進めます。
3. 魅力ある資源を活かしたまちづくりを進めます。
4. 秋葉区の魅力や暮らし方を統一的なイメージで区内外に情報発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図るとともに移住・定住の促進に取り組みます。

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 産学官・地域等と連携し、まちなかの活性化や健康づくり、人材育成に向けた取組を進めます。

現状 (課題)	新潟薬科大学新津駅東キャンパスのオープンを契機として、これまで産学官・地域等との方向性の共有も図られてきており、更なる連携の強化に努め、大学の知的資産と学生の感性やパワーを積極的に取り込む仕組みづくりを進め、まちの持続的な活性化や地域課題解決につなげていく必要があります。		
課題解決策	目標	産学官、地域との協働による賑わいと活力のあるまちなかの構築	
	新潟薬科大学、新津商工会議所、商店街、関係機関・団体、地域住民、区役所等による「まちなか活性化実行委員会」を引き続き開催し、3つの部会を中心に取組を進めます。産学官連携による人づくり、まちづくりを進めるため、新津駅東キャンパスを有効に活用して、新たな人材を育てていきます。		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟薬科大学、商工会議所等との連携による「まちなか活性化実行委員会」の開催 ・ まちなかの魅力創出事業（大学と商店街等との連携事業、学生タウンミーティング等） ・ 地域人材の育成「ひと・まち・みらい元気創出事業」 		

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	3	達成数	3
<p>「まちなか活性化実行委員会」において、大学の知的資産や学生の感性やパワーを積極的に生かしながら、まちなかの活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成を行いました。地域や商店街等と連携しながら学生のキャリア形成実践演習を本格化するとともに、引き続き健康自立セミナーや健康レストランプロジェクトに取り組むことで、住民の健康づくりを支えました。女子の視点からまちづくりを考えるプロジェクトを通して新たな人財の発掘・育成につなげることができました。</p>					

今後の方針

産学官、地域等が連携をより深めながら、学生や商店街、住民との協働によるまちなかの活性化や健康づくり、人材育成等に取り組み、区の魅力づくりにもつながっています。今後も区の魅力づくりや課題解決と合わせて、商品開発など産業振興も含めて、産学官、地域等と方向性を共有し、より主体的となる活動を進めていきます。

2 自助・共助・公助の重層的な組合せによる地域ぐるみの福祉を推進するとともに、安心安全なまちづくりを進めます。

現状 (課題)	<p>人口減少・少子高齢化、核家族化の進展などに加え、生活習慣の変容、価値観の多様化、SNSの拡大により住民同士の人間関係が薄れ始めています。こうした、人との交流の在り方の変容、地域社会のつながりの希薄化、孤独感の増大などに起因する従来にならぬ福祉課題が増大しており、支え合い、助け合う地域でのつながり、地域の力が求められています。</p>			
課題解決策	目標	支え合いによる誰もが健康で安心していきいきと暮らせるまちづくりの推進		
	<p>「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、区民一人ひとりが健康で安心して暮らし続けることができるよう、「自助・共助・公助」の方針を広く周知・普及しながら、地域・関係機関等と連携を図り、高齢者・障がい者・子育て・健康づくり・生活保護等の各支援施策・事業に取り組みます。</p> <p>特に、包括的に生活支援が出来る「地域包括ケアシステム」の体制と仕組みを市民・関係機関等と構築・実践するとともに、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進します。</p> <p>また、障がい者の就労支援や健康寿命の延伸に向けた各種施策を実施するとともに、秋葉区ならではの個性を最大限に活かした子育て環境の整備・充実をはかります。</p>			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支え合いのしくみづくり会議（協議体）を拠点とした地域における支援活動の推進 ・ 認知症キャラバンメイト連絡会を発足し、キャラバンメイトのスキルアップと認知症サポーターの養成を推進 ・ 障がい者の就労意欲向上や雇用の啓発として、障がい者チャレンジ支援事業や、あきはステップファーム、大麦プロジェクト、障がい者わくわくワーク支援の実施 ・ 子育てサロンやパパサロン等、身近な子育て支援の充実 ・ ロコモ予防の普及啓発並びにサポーター(PPK)フォロー研修の実施・イベントの実施 ・ 新潟薬科大学との連携による健康・自立セミナーの実施 ・ 健康寿命延伸事業として、地域に出向いての健康教育・保健指導等の実施 ・ 保育環境の整備とともに老朽化した子育て支援施設の対応策の検討 			

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	9	達成数	9
	<p>支え合いのしくみづくり推進員と連携し、地域における支援活動に取り組み、地域の茶の間が新規に3か所開設されました。</p> <p>秋葉区キャラバンメイト連絡会を発足し、キャラバンメイトを中心に研修会や市民向け講演会、認知症サポーターステップアップ講座など企画・運営したほか、認知症カフェを試行しました。</p> <p>また、地域の住民や関係機関と連携・協力しながら、障がい者チャレンジ支援事業をはじめ、秋葉区の特徴を活かした高齢者・障がい者・子育て・健康づくり等の各支援施策・事業に取り組み好評を得ました。</p>				

今後の方針

地域住民や関係機関と連携し、支え合いのしくみづくり会議（協議体）を拠点とした地域における支援活動の推進に引き続き取り組むとともに、今後もキャラバンメイトをはじめ関係機関と連携し、認知症に対する意識啓発を図っていきます。

また、秋葉区の特性を活かした高齢者・障がい者・子育て・健康づくり等の各支援施策・事業についても引き続き取り組み、更なる福祉サービスの充実に努めます。

3 魅力ある資源を活かしたまちづくりを進めます。			
現状 (課題)	<p>秋葉区は、緑豊かな里山をはじめ、古くから鉄道のまちとして栄えた歴史、全国屈指の花き花木生産、日本一の採掘量を誇っていた石油の文化遺産、町屋に代表される伝統的な町並みなど特色のある魅力に恵まれた地域です。</p> <p>これらの資源を保全しつつ最大限に活用していくため、各施設間や各種団体等との連携をより一層強化するとともに、交流人口の拡大に向け、区の内外へ積極的かつ効果ある魅力発信に努める必要があります。</p>		
課題解決策	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">目標</td> <td>地域資源を活かした交流人口の拡大</td> </tr> </table>	目標	地域資源を活かした交流人口の拡大
	目標	地域資源を活かした交流人口の拡大	
<p>新潟薬科大学や商店街、関係団体等と連携しながら、学生のアイデアを活かした事業の実施を通じ、学生の学びの場ともなる魅力あるまちづくりを目指します。</p> <p>「里山未来の種プロジェクト」において策定した行動計画に基づいた各種取り組みを実施していきます。また、秋葉丘陵利活用の中核施設となっている里山ビジターセンターの利用者拡大に向け、積極的な情報発信や魅力ある自主事業の実施を促進します。</p> <p>産業の大きな柱となっている花き生産、鉄道のまちとして栄えた歴史を伝える鉄道資料館や車両製作所などの鉄道関連施設、全国一の石油採掘量を誇った当時の施設が残る石油文化遺産、ほぼ全ての品種が揃う日本最大のボケ公園を併設する小須戸花とみどりのシンボルゾーンなど、区の大きな魅力を十分に活用し交流人口の拡大を図ります。</p> <p>商店街の活性化については、各種イベントの実施や空き店舗対策に努めます。</p>			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちなか魅力創出事業 ・ 里山未来創造事業 事業内容：Akiha マウンテンプレーパークの開催、里山魅力体験、里山楽習広場等の実施 など ・ 里山ビジターセンター発信力強化事業 ・ 観光誘客宣伝事業 事業内容：鉄道まつり、ハロウィン仮装まつり、あきはなび、秋の音、あおぞら市場、新津春夏まつり、小須戸喧嘩灯籠まつり、町屋ギャラリー など ・ 創業サポート事業（空き店舗の再開） 		

主な取組の指標達成状況	設定数	8	達成数	5
取組結果	<p>新潟薬科大学の学生とともにまちなかの魅力を創造する取り組みでは、学生の地域での活動が大学で単位授業として必修化されており、その中でも、学生自身が造った甘酒を露店市場で販売したり、商店街イベントを活動のPRの場に使うなど、自発的にまちなかを活動の場とする姿が見られるようになりました。</p> <p>里山のプレーパークでは、夏場の猛暑とその後の毎週末の雨で利用者が減少しましたが、11月以降は少雪のため好調な伸びでした。ビジターセンター来館者数は、各種イベントの実施により堅調な増加となり、どちらも目標を達成しました。</p> <p>観光誘客宣伝の取組みでは、期間限定ではありますが、商店街に土日祝日も対応可能なまちなか案内所を初めて開設しました。観光イベントについては、区民への認知及び定着が進んでいますが、曜日や天候の影響により集客数が減少するイベントがありました。また、空き店舗の再開については、週末だけの営業や、民家を改装して出店するなど、新しい形態の店舗が生まれてきています。</p>			

今後の方針

新潟薬科大学で単位授業として必修化された「学生の地域での活動」を新津商工会議所や商店街、関係団体等と連携しながら内容の進化・深化を進めます。

「秋葉丘陵」として親しまれている緑豊かな里山の魅力ある資源を活かすべく、行動計画に基づいた取り組みを実施し、里山の魅力に一層磨きを掛けて発信に努めます。

「花のまち」、「鉄道のみち」としての秋葉区の大きな魅力を十分に活用し、インバウンド獲得やJRデスティネーションを活用するなど交流人口の拡大を図ります。

商店街の活性化については、イベントの実施や「まちなか案内所」を活用した誘客に、観光協会等と連携しながら進めます。

4 秋葉区の魅力や暮らし方を統一的なイメージで区内外に情報発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図るとともに移住・定住の促進に取り組みます。			
現状 (課題)	<p>秋葉区の人口は、平成 27 年国勢調査において減少に転じています。人口移動調査でも自然動態のマイナスに加え、社会動態における県外への転出超過が見られます。</p> <p>一方で、30 代・40 代を中心とした県内からの転入により、社会動態全体では転入超過が続いており、平成 29 年人口移動調査では中央区や西区を上回る社会増となっています。また、首都圏から移住する動きも見られます。</p> <p>人口減少・少子高齢化という社会構造の変化に対して、個性豊かな秋葉区の魅力を活かし、誰もが自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、「ここに住んで良かったと思えるまちづくり」を進める必要があります。</p>		
課題 解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;"> 目標 </td> <td> 人口減少を緩和し持続可能なまちづくりを進めるため、地域に対する愛着や誇りの醸成と新たな環境で暮らしを求める移住・定住者の獲得 </td> </tr> </table> <p>地域等と連携して、秋葉区の魅力（里山、鉄道、花等）や暮らしを統一的なイメージで区内外に情報発信し、区民の地域に対する愛着や誇りを醸成していくことで転出の抑制を図るとともに、一度この土地を離れてもUターンを誘引するきっかけづくりにつなげていきます。同時に、区外からの移住を呼び込むための仕組みづくりを進め、移住・定住へ向けた具体的な取り組みを展開していきます。</p> <p>地域と学校の連携を進め、コミぶら散歩の成果である「みりよくノート」を活用した、子どもの地域学習の場を支援していきます。また、秋葉区の個性を活かし、次世代を育む環境づくりを推進するための懇談会を開催します。</p>	目標	人口減少を緩和し持続可能なまちづくりを進めるため、地域に対する愛着や誇りの醸成と新たな環境で暮らしを求める移住・定住者の獲得
目標	人口減少を緩和し持続可能なまちづくりを進めるため、地域に対する愛着や誇りの醸成と新たな環境で暮らしを求める移住・定住者の獲得		
主な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ AKIHA sumu プロジェクトの継続 (移住体験ツアー、移住・定住のための仕組みづくり) ・ 秋葉区ブランドの構築・発信 ・ Akiha の宝 子ども発見・体感・体験サポート事業 ・ 子どもたちを健やかに育てていくための環境や取組みについて、秋葉区内の保育機関を含め幼稚園から小中高・大学までの関係機関と意識や情報を共有するための教育懇談会を開催 		

	主な取組の指標達成状況	設定数	4	達成数	3
取組 結果	<p>区民のまちづくりへの関心を高め、秋葉区への愛着と誇りを育むために、大型パナー等を通して、区のイメージを戦略的かつ積極的に発信しました。移住・定住の促進に向けて移住体験ツアーを開催するとともに、小須戸など地域が主体となり移住・定住の促進を図っている地区における活動を支援しました。</p> <p>また、地域と連携しながら、区の宝を子どもたちの地域学習の場として活用するとともに、子どもたちが健やかに育てていくための環境づくりを話し合う教育懇談会を開催しました。</p>				

今後の方針

「住んでよかったと思えるまちづくり」を目指し、個性豊かな秋葉区の特長や魅力をブランド化し、積極的に発信することで、より一層区民の地域への愛情と誇りを育みます。移住体験ツアーの開催や地域主体による移住・定住の促進に取り組むモデル地区の活動を支援します。

また、市民活動に取り組む新たな人材を発掘・育成することで、地域・区民主体による魅力あるまちづくりを進めます。

区の個性を活かした子どもたちの地域学習の場や子どもたちを育む環境づくりについて話し合う場を充実していきます。